

赤潮診断カード

調査年 月日	令和4年7月8日	6:30	着色域あり			
調査者	県漁協吉田支所					
出現状況	発生年月日	場所		発生範囲		
		吉田湾		下記のとおり		
被害状況	-	採水調査結果(cells/ml)				
種類 / 地点番号	①	②	③	④	⑤	⑥
	浅川	知永	立目	竜王鼻	馬ノ濬沖	野島表
採水層	2m	0m			1m	3m
珪藻類	9,800	19,300			15,900	25
カレニア・ミキモイ	32	6			12	0
シャトネラ属	0	0			0	0
フィロカプサ・ジャポニカ	120	10			15	6
プロロセントラム・デンタム	0	0			0	0
プロロセントラム・トリエステinum	-	-			-	-
その他の鞭毛藻類	8,200	17,400			6,200	100
種類 / 地点番号	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	大良	箱崎	楠ヶ浦	奥南出荷場	南君	筋
採水層	0m		0m			3m
珪藻類	20,700		19,600			20
カレニア・ミキモイ	0		0			0
シャトネラ属	0		1			0
フィロカプサ・ジャポニカ	0		0			0
プロロセントラム・デンタム	0		0			4
プロロセントラム・トリエステinum	-		-			-
その他の鞭毛藻類	5,800		1,300			140
種類 / 地点番号	⑬	⑭	⑮	A	B	
	法華津	深浦	漁協前	立目出荷場	立目出荷場奥	
採水層	3m		0m	2m	0m	
珪藻類	425		10,200	8,500	11,100	
カレニア・ミキモイ	0		0	1	6	
シャトネラ属	0		0	0	0	
フィロカプサ・ジャポニカ	0		0	145	10	
プロロセントラム・デンタム	505		0	0	0	
プロロセントラム・トリエステinum	-		50,000	-	-	
その他の鞭毛藻類	600		5,500	470	1,590	
指導状況	<p>早朝の調査ですが、最大32cells/mlのカレニア・ミキモイが確認されました。朝の時点では低密度でも昼に集積することが考えられますので、海色の変化に十分ご注意ください。</p> <p>珪藻類や無害鞭毛藻類も多い状況です。</p> <p>【危険濃度】 カレニア・ミキモイ(赤潮原因種) 1,000cells/ml シャトネラ属(赤潮原因種) 100cells/ml</p>					

○ 着色域

